



学校だより

令和 6 年 1 月 3 1 日
福生市立福生第三小学校
校長：浅倉 宏之
住所：福生市牛浜 1 6 2
電話：5 5 1 - 0 2 4 9

<http://fussa-3e.hs.fussa.school/>

いじめのない安心・安全な学校づくりに向けて

副校長 西村 学徳

本校では、全ての学級に平成 2 7 年度に作られた「いじめを許さないまち ふっさっ子宣言」というポスターが掲示されています。その中には、次のような文章が書かれています。

- 一、私たちは、勇気をもって友だちに悩みを相談します。
- 一、私たちは、仲間のことを思いやり、あいさつと笑顔があふれる学校にします。
- 一、私たちは、いじめを見て見ぬふりをせず声をかけます。

福生第三小学校に通う全ての子供たちにとって、福生第三小学校が安全で安心できる場であることが、何よりも大切なことであることは言うまでもありません。子供たちが楽しい学校生活を送ることも、そして、よりよい学びを得ることも、学校が安全で安心な場であることで、はじめて成り立つものです。その安全・安心を脅かすものの一つが「いじめ」であり一人一人の大切な人権が守られるためにも、「いじめ」は絶対に許されません。

「いじめ」は、次のように定義されています。（※いじめ防止対策推進法より）

- ① 行為をした者（A）も行為の対象となった者（B）も児童・生徒であること
- ② AとBの間に一定の人間関係があること
- ③ Aの行為がBに対して心理的または物理的な影響を与えていること
- ④ 当該行為の対象となったBが心身の苦痛を感じていること

この「いじめ」を本校から排除するために、本校では、教職員による日々の声掛けはもとより、道徳授業の充実、いじめ標語づくり、いじめアンケート等、様々な教育活動を通していじめを許さないという姿勢を子供たちに示し、子供たち自身のいじめ防止に向けた意識が高まるように、繰り返し指導をしています。教職員は、いじめはどのクラスでも起きる可能性があるというスタンスで、「いじめの未然防止・早期発見・組織的対応」を合言葉にいじめ対策に取り組んでいます。

さて、先日、1月16日に福生市立学校全ての小中学校で「いじめ防止サミット」が行われました。今回のテーマは「いじめる側の気持ちを考える」でした。いじめをする人の気持ちを容認するというのではなく、どのような気持ちがいじめを起こす原因となるのかについて深く考えることで、いじめ防止についての意識を高めることをねらいとしました。5校時は、市内各校の代表児童・生徒の討論をそれぞれの教室で視聴し、6校時は、その討論を受けて、さらに各学級で話し合いを行いました。子供たちはよく考え、どの学級も活発な意見交流が行われていました。人は誰しも、意地悪な気持ちや嫉妬心等の弱い心をもっていません。そんないじめを生み出すような弱い心に負けず、学校でみんなが楽しく過ごすために、自分に何ができるか、自分は何をすべきかを、今回のサミットを通してよく考えることができていたのではないかと、子供たちの話し合う姿を見ながら感じました。

「いじめの加害者にも被害者にも、そして傍観者にもなってはいけない」という子供たちの今回の学びが決して一過性のものとならないよう、また、冒頭の宣言を子供たちが常に心に留めながら学校生活を送れるよう、「いじめ防止」に向けた指導を今後も継続的に行い、御家庭や地域と連携しながら子供たちの安全・安心を守っていきたいと思います。